

生活文化特別授業 「ロシアの人々の生活文化」

11月27日（水）、ロシア民族舞踊研究家 ヴィクトリア・ユーリエーナ先生と PHS 国際交流協会国際局長 小田 俊博先生をお招きしてロシアの生活文化についての講義をしていただきました。

衣食住を中心としたロシアの生活文化について、ヴィクトリア先生の説明に、小田先生が写真を交えながら、生徒達に分かりやすく注釈を加えてくださいました。後半は生徒達が事前学習でロシアのことについて調べ、班ごとに考えた質問タイムでした。「結婚は何歳ごろで、一般的なプロポーズの仕方がありますか。」といった一見ミーハー？な質問が、徴兵制との関係や男女の働き方、教育制度にまで話が及ぶなど、日本との違いを再認識し、学びの多い時間となりました。



小田先生からは、30年近くにわたって日露交流に尽力されているお話や、しまなみ街道の架橋技術がロシアでも活かされていること、日本の中古車が装飾もそのままロシアを走っていることなどをお聞きし、ロシアがより身近なものに感じられました。



調理実習（ボルシチ・ブリヌイ）では缶詰のピーツを使いましたが、小田先生が育てた生のピーツを見せて頂きました。



民族衣装のサラファン。色使いや南では刺繍が多く、北では毛皮を利用するなど地域での装飾の違いなども教えてくださいました。



ロシア民謡のカチューシャを歌っていただきました。最後は一人一人お礼状をお渡し、感謝と友好の気持ちを込めて、ヴィクトリア先生と握手を交わしました。